

令和7年度 北区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/25(水)、9/17(水)、11/14(金)、11/18(火)、12/10(水)
2/4(水)、3/18(水)、5/12(火))

■事業等

- 6月25日(水) 研修会「地域との関わり」(北区役所)
- 9月17(水) 研修会「ホワイトハンドコーラスを通して～聞こえにくい子どもの子育て～」(北区役所)
- 11月14日(金) 研修会「土星と秋の星空を楽しもう」(紫野小学校)
- 11月18日(火) 子育てふれあいトーク(楽只児童館)
- 12月10日(水) 研修会「あなたならどうする? ～防火・防災について学びましょう～」(北消防署)
- 3月18日(水) ふれあいトーク in 衣笠中学校(衣笠中学校)



○子育てふれあいトーク(児童館トーク)

乳幼児を子育て中の保護者の方々と実行委員で、子育ての楽しさや悩みについてお話をしました。参加された保護者の方からも「つながりができてよかった」「子育ての先輩たちからいろいろな話を聞くことができた」等の意見をいただき、ほっこり温かい雰囲気を実施することができました。

○研修会「土星と秋の星空を楽しもう」

紫野キッズサポーターと共催で、紫野小学校を会場に子どもたちや保護者、地域の方々を交えた星空観賞会を行いました。

星のソムリエを講師に15年ぶりに環の細くなった土星と秋の星空について解説をお聞きしました。お話を聞くだけでなく、外に出て天体望遠鏡を使って土星と他の星々を観望しました。

参加した子どもたちも目をキラキラさせて喜んでおり同時に、地域の大人たちも大変勉強になりました。



○ふれあいトーク in 衣笠中学校(中学生トーク)

「語り合おう!地域の素晴らしさ」をテーマに、1年生とふれあいトークを実施しました。地域の素晴らしさとして、「自然が多い」「みんな仲が良い」等の声が聞かれました。観光客が多い地域でもあるせいか、ごみのポイ捨て問題に関心のある生徒が非常に多かったのが印象的で、活発な意見交換が行われていました。

令和7年度 上京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(5/20、7/29、9/10、10/23、11/27、1/30、3/5)

■事業等

- 6月 1日(日) 上京の子どもまつり2025(仁和小学校)
- 9月11日(木) みんなでだっこ～ぼちぼちいこか～(中央図書館との連携事業)
- 11月 6日(木) ほっこりニコニコとーきんぐ(上京児童館)
- 11月18日(火) ほっこりニコニコとーきんぐ(西陣児童館)
- 12月 5日(金) 二条中ふれあいトーク(二条中学校)
- 1月27日(火) ほっこりニコニコとーきんぐ(室町児童館)

○「上京の子どもまつり2025」ブース出展

京都はぐくみ憲章の啓発「はぐくみの木」コーナーでは、だいすきな人やものをメッセージカードに書いていただき、上京の子どもたちの『だいすき!!』がたくさん実った素敵な木ができあがりました。

工作コーナーでは、真剣な眼差しで組紐を編み「ミサンガ」を完成させたり、金欄やかみぎゅうくんのシールを挟み込みオリジナルの「しおり」を作ったりと、思い思いに工作を楽しむ子どもたちの姿がたくさんありました。



○「ほっこりニコニコとーきんぐ」児童館トーク

上京区内の3児童館におじゃまをし、乳幼児の子育て中の保護者の方と身近な話題についておしゃべりをするトーク事業を実施しました。

現役の保護者とその上の世代との交流の中で、異世代だからこそその話もでき、「私のおすすめ」「5年後の私」など、どのテーマでも会話が弾み、3児童館とも終始あたたかな雰囲気で行うことができました。

○「二条中ふれあいトーク」中学生トーク

二条中学校2年生の皆さんとサイコロトーク形式で交流しました。「将来こんなことをしてみたい」や「ありがとうを言いたい」等、どのテーマも時間が足りないくらいとても盛り上がりました。

「話を聞いてもらえることがうれしかった」「地域で出会ったらまた話をしたい」など、中学生から嬉しい感想もたくさんいただきました。地域には見守ってもらっている方がたくさんいることを、実感してもらえたのではないのでしょうか。





令和7年度 左京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/12 (木)、8/26 (火)、10/9 (木)、12/18 (木)、
4/23 (木))

■事業等

- 10/16 (木) ふれあい児童館トーク (高野児童館)
- 11/7 (金) ふれあいトーク in 下鴨中学校 (下鴨中学校)
- 11/30 (月) 左京区民ふれあいまつり (左京区役所)
- 12/2 (月) ふれあい児童館トーク (岩倉南児童館)
- 12/11 (木) ふれあい児童館トーク (修学院児童館)
- 1/21 (水) ふれあいトーク in 近衛中学校 (近衛中学校)

○ふれあい児童館トーク

左京区内の3児童館 (高野、岩倉南、修学院) において、「子育てで困っていること」や「おすすめの遊び場」等をテーマに、サイコロトーク形式でお話しました。子育て中の保護者の皆さんが地域の中で孤立せず、地域の大人が温かく関わることで、参加された皆さんの安心感を高め、地域の絆を深めることができました。



○「左京区民ふれあいまつり」ブース出展

左京区役所主催の「左京区民ふれあいまつり」において「ふれあいカーニバル」コーナーを運営しました。当日は、子育てを支援・応援する団体の皆様による「お茶席」、「大原女・白川女衣装体験」、「クラフト」等、親子で楽しめるコーナーを準備し、たくさん子どもたちとふれあうことができました。

○ふれあいトーク in 下鴨中学校、近衛中学校

中学生と「仕事・働くこと」をテーマにトークを実施しました。中学生からは「働いてどんな感じ?」「自分らしい生き方とは」といった疑問から、「あなたの仕事は社会にどう役立っていますか」といった、少しぎくつとするような質問まで、様々な質問が飛び交いました。大人側は、中学生からの疑問に答えるなかで、自身の仕事や生き方を振り返る時間となりました。



令和7年度 中京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/26、7/24、9/25、10/16、11/27、1/29、3/26、5/28)

■事業等

●7月8日(火)、2月20日(金) 「しゃべり場 in 京都御池中学」(京都御池中学校)

●7月24日(木)、9月25日(木)、10月16日(木)

「こどもの居場所づくり学習会」(元正祥小学校他)

●9月13日(土) 「こどもふれあいコンサート(中京ふれあい事業)」(こどもみらい館)

●9月16日(火) 「洛中小学校福祉授業参観」(中京区役所)

●9月20日(土) 「朱八PTA 秋まつり」へのブース出展(朱雀第八小学校)

●10月26日(日) 「中京区民ふれあいまつり」へのブース出展(中京中学校)

●11月2日(日) 「朱四(あかしや)秋まつり」へのブース出展(朱雀第四小学校)

●11月27日(木)、1月29日(木) 「ワールドカフェ」形式の研修会(こどもみらい館)

●12月7日(日) 「いばしょクリスマス会」(佛教大学二条キャンパス)

●2月10、12、13日 「乳幼児保護者とのふれあいトーク」(朱雀第三児童館)



○しゃべり場 in 京都御池中学校

中学3年生が、「住み続けられるまちづくり」をテーマに、各自が自分たちでできることを考え、グループに分かれて発表。その場に地域の大人として参加しアイデアに対する意見交換をしました。ごみの問題、オーバーツーリズム等について、中学生の気づきや想いを聞く貴重な機会となりました。

○いばしょクリスマス会へのブース出展

こどもの居場所づくりに取り組む団体が集まるイベントに、工作体験ブースを初出展しました。子どもたちが完成した缶マグネットや風車を嬉しそうに保護者に見せる姿が見られました。他にも、区やPTA主催のお祭りにおいてもはぐくみ憲章啓発のブースを出展しました。



○「ワールドカフェ」形式の研修会

こどもの居場所づくり学習会を踏まえ、安心できる居場所づくりのために地域力をどう高めるか問いを立て、自分に何ができるかみんなで積極的な意見交換を行った。参加者からは様々な立場の方と深く議論ができてよかった、地域力を高めるためには企業が学生の力が必要と再認識したとの感想がありました。

令和7年度 東山区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/16(月)、7/31(木)、8/29(金)、10/9(木)、
11/13(木)、12/18(木)、1/30(金)、3/2(月)、
5/21(木))

■事業等

- 9月21日(日) 東山区民ふれあいひろば2025(東山区役所)
- 1月31日(土) 第22回東山ふれあいリレーマラソン(開晴小中学校第二アリーナ)
- 2月上旬 敬老メッセージ作品集完成

○「東山区民ふれあいひろば2025」ブース出展

京都はぐくみ憲章の普及啓発と共に、バルーンアートやぐるぐるボールをプレゼントしました。来場者に大切な人へのメッセージを書いていただき、はぐくみの木に貼っていただきました。150名以上に書いていただき「はぐくみの木」が2本も完成しました。1本は後日、区役所で展示しました。



○第22回東山ふれあいリレーマラソン

今回はタスキをつないで1時間で1周60mのトラックを何周走れるかに挑戦するという新ルールで実施しました。当日は約140名の参加者にお越しいただき、開会式では特別ゲストとして日本郵政グループ女子陸上部OGの高橋明日香様にもお越しいただき走り方教室を実施しました。無事1時間をみんなで完走し、2レーン合計で334周走ることができました。

○敬老メッセージ作品集

京都東山モラロジー事務所との共催で実施しており、開晴小中学校と東山泉小中学校の小学3年生に、おじいちゃん、おばあちゃん、見守り活動をしている皆さんへの感謝の気持ちを書いていただきました。

子どもたちが書いたメッセージの中から実行委員会を選んだ作品を掲載した「敬老メッセージ作品集」を作成し、子どもたちへ配布したほか、東山区役所でも掲示をしました。



令和7年度 山科区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/13 (金)、7/1 (火)、9/8 (月)、10/16 (木)、11/10 (月)、12/17 (水)、1/26 (月)、2/27 (金)
3/26 (木)、5/15 (金))

■かるた部会の開催

(6/30 (月)、8/4 (月)、9/22 (月)、10/23 (木)、11/26 (水)、12/17 (水))

■事業等

- 7月27日 (日) 身近な夏の不思議体験2025イン山科 (京都薬科大学)
- 10月25日 (土) 子ども音楽体験ワークショップ (東部文化会館)
- 11月11日 (火) 山科区伝統文化「能楽」体験 (安朱小学校、小野小学校)
- 11月14日 (金) 大宅中学校「ふれあいトーク」(大宅中学校)
- 11月20日 (金) 勧修中学校「ふれあいトーク」(勧修中学校)
- 11月23日 (日) ふれあい“やましな”2025区民まつり(山科中央公園)
- 2月 9日 (月) 山科中学校「ふれあいトーク」(山科中学校)

○身近な夏の不思議体験2025イン山科

京都薬科大学との共催事業として「山科理科実験講座」を実施しました。当日は4年生から6年生まで約90名の小学生が参加し、「水」を使った実験を行い、アルギン酸カルシウムや高吸水性樹脂について学びました。参加した子どもたちは目の前で起こる化学反応に「なんでー！」と驚きと発見の連続でした。



○こども音楽体験ワークショップ

京都市立芸術大学の御協力のもと、子ども音楽体験ワークショップを開催しました。

4年生以上の小学生約20名が参加し、学生の皆さんから楽器の特徴や鳴らすコツを教えてもらい、それぞれの音色を楽しんでいました。楽器体験後は、学生の皆さんによるミニコンサートも行われ、子どもも保護者も全員が生演奏に聴き入っていました！



○山科区伝統文化「能楽」体験

山科区在住で能楽師の吉浪壽晃先生が代表を務められている「吉浪壽晃友の会」様にお越しいただき、安朱小学校と小野小学校の2会場で、計5校の5～6年生を対象に、能楽の歴史や、実際に使用される面や楽器の紹介をいただいた後、演奏体験も実施いただきました。能楽も実演いただき、伝統文化を身近に感じることができました。



令和7年度 下京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/7(土)、7/25(金)、10/4(土)、3/14(土)、3/29(日))

■事業等

- 6月7日(土) ワークショップ「人権ゆかりのまちを歩く」(下京青少年活動センター ほか)
- 7月25日(金) ワークショップ「中央卸売市場見学」(京都市中央卸売市場)
- 10月4日(土) ワークショップ「子どもたちのエコな未来って?」(京エコロジーセンター)
- 1月14日(水)～15日(木) オープンスクール DAYS 授業参観(下京中学校)
- 3月14日(土) ワークショップ「下京まちなかアート」(京都市立美術工芸高等学校 ほか)
- 3月29日(日) 下京つながるフェス(KYOKA(京果)会館)

○ワークショップ「人権ゆかりのまちを歩く」

世話役で崇仁発信実行委員会代表の藤尾まさよさんに解説していただきながら崇仁のまちを歩きました。参加者からは「解説を通じて正しく知ることができた。」「人々の願いが現在の「まち」にもつながっていると感じた。」

「自ら関わっていくことの大切さを感じた。」など学び多き時間となりました。



○ワークショップ「中央卸売市場見学」

中央卸売市場の1日についてビデオ視聴後、樋掛部長と花原係員に解説いただきながら実際に市場を見学させていただきました。セリも見学させていただき、勢いのあるかけ声とすごいスピードで入札が決まっていく様子に参加者全員が見入っていました。子どもたちは市場に並べられている魚や果物など一つ一つに興味津々で、楽しく食品の流通について学んでいました。

○研修会「下京まちなかアート」

京都市立美術工芸高等学校、京都駅ビル、下京区役所、リーガロイヤルホテルに展示している子どもたちが描いた素敵な作品にふれてきました。美術工芸高等学校では、学生とは思えない画力に驚きました。小学生の作品は色鮮やかで元気が伝わる作品ばかりで、中学生の作品には生徒一人一人の個性を感じることができました。作品を鑑賞している人は皆さん自然と笑顔になっていました。



令和7年度 南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催（5/28（水）、9/12（金）、3/11（水））

■事業等

- 7月2日（水） 総合的な学習の時間「光と風学習」のプロジェクト学習支援（凌風学園）
- 10月5日（日） ※中止 「わくわくどきどき 西寺公園秋祭り」（唐橋西寺公園）
- 11月9日（日） 南区民ふれあいまつり（唐橋西寺公園）
- 1月24日（土）、25日（日） 「南区子ども書道展」（唐橋小学校）
- 1月15日（木） 八条中学校生徒会いきいきトーク（八条中学校）



○「南区民ふれあいまつり」

京都はぐくみ憲章の啓発とあわせて、「松ぼっくりツリー」づくりブースを出展し、当日は雨にも関わらず100名を超える子どもたちで賑わいました。子どもが夢中で制作する姿はほほえましさに溢れていました。

○八条中学校生徒会いきいきトーク

「学校と社会の繋がり～大人になって感じる学校での学び～」をテーマに交流しました。事前に全校生徒にアンケートを取った内容を基に大人に質問し、熱心に聞く姿がとても印象的でした。将来の自分の姿を想像する貴重な時間になったのではないのでしょうか。



○「南区子ども書道展」

区内の小・中学校等に通う子どもたちによる計3,469点の作品が体育館いっぱいに貼り出される光景は圧巻で、訪れた方々からも歓声が上がるほどでした。

当日、吉田副市長をはじめ、諸団体の来賓の皆様から表彰状を授与された子どもたちの、誇らしげな表情がとても印象的でした。

令和7年度 右京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催（7/8、8/27、9/16、10/17、1/8、2/17、5/8）

■事業等

- 10/25（土） 右京区民ふれあい文化フェスティバル（太秦安井公園）
- 11/ 1（土） こどもシゴト博@右京2025（京都先端科学大学）
- 3/8 （日） 子ども安心安全教室（右京区役所）



○「右京区民ふれあい文化フェスティバル」ブース出展他

はぐくみ憲章パネルでのアンケート実施のほか、親子で楽しめる「ペットボトルオーナメント」「踊る紙コップ人形」の工作ブースを出展しました。

また、ステージ発表では、地域や家族のつながりの大切さをコミカルに伝える寸劇を行いました。この寸劇のために、区長をはじめとする実行委員会のメンバーは2日間かけて事前練習を行いました。その成果もあり、当日のステージは大いに盛り上がりしました。

○「こどもシゴト博@右京2025」運営協力

お仕事体験ブースと地産地消マーケットでのお買い物体験を通じて、「地域循環型経済」を体験してもらう職業体験イベントで、約740名の小学生とその家族等、約1,800名が来場しました。参加した子どもたちは模擬就労の「お給料」として会場限定通貨を受け取り、その通貨で地域の特産品を購入することにより、働くことの理解や社会の仕組みを学びました。実行委員会は、入場者の受付と「地産地消マーケット」ブースで啓発バックの配布をしました。



○子ども安心安全教室の実施

就学前の保護者と年長児を対象に、「自分で身を守る力」「いざという時の対応力」を身に付けることを目的に、「子ども安心安全教室」を実施しました。話を聞くだけでなく、ビデオを見たり憲章マンと鬼が登場したりと、子どもが楽しく学ぶことができる工夫があり、参加者からは大変好評でした。



令和7年度 西京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/9 (月)、7/28 (月)、10/31 (金)、3/4 (水))

■事業等

- 7月28日 (月) ワークショップ「A I が子どもに与える影響とは」
(桂小学校 ふれあいサロン)
- 10月31日 (金) 学校見学 (洛西陵明小中学校)
- 11月15日 (土) 西京ひろば in 洛西 (ラクセーヌ及びその周辺)
- 3月4日 (水) 研修会「放課後の子どもの居場所について」
(桂小学校 ふれあいサロン)

○ワークショップ (A I が子どもに与える影響とは)

同志社大学グローバル地域文化学部の見原礼子准教授とゼミ生にお越しいただき、「A I が子どもに与える影響とは」についてゼミ生からプレゼンいただいた後、グループディスカッションを実施しました。日々地域の子どもの保護者に寄り添っている実行委員の実体験やゼミ生による大学生目線の意見を共有し、A I がもたらす良い点と悪い点など踏まえて未来の子育ての姿について活発な議論が行われました。



○洛西陵明小中学校見学

令和7年4月に開校した洛西陵明小中学校を見学させていただきました。子どもたちが安心してのびのびと学べる空間となるよう考え抜かれた設計に参加した委員も驚いていました。向段校長から学校の概要、教育方針、活動内容についてご説明いただき、国際交流やI Tサービスの導入など教育現場の最前線の取組を学ばせていただきました。

○「西京ひろば in 洛西」ブース出展

11月15日に開催された「西京ひろば」で、ブースを出展し、「あったらいいな！こんなこと、こんなもの」をテーマにメッセージを募集しました。思わず笑顔になるようなメッセージを約200名の方々にいただきました！メッセージボードは西京区役所及び洛西支所において、後日掲示していただきました。



令和7年度 伏見西「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

・6/17、5/18

■事業等

- 6月17日（金） 研修会「保護司の活動を知る」（伏見区役所）
- 11月 2日（日） 伏見ふれあいプラザ（伏見区役所）
- 11月 7日（金） ドリーム・ゼミ中間発表会（大淀中学校）
- 11月28日（金） ポスターセッション（向島秀蓮小中学校）
- 2月 4日（水） ポスターセッション（伏見中学校）
- 2月 6日（金） サークルトーク（向島藤の木小学校）
- 5月18日（月） 研修会「若年層が陥りやすい闇バイト等について知る」（伏見区役所）

○研修会「保護司の活動を知る」

保護司の高橋氏に講演いただきました。いくつかの事例をお話いただきながら、保護期間中の子どもたちの姿や思いなどを知ることができました。「意外と無意識に人を傷つけてしまっている。大人でもある。時々立ち止まって気づくことが大切である。」という言葉が印象的でした。



○「伏見ふれあいプラザ」ブース出展

伏見区総合庁舎で実施された「伏見ふれあいプラザ」の親子で楽しめるコーナーにブース出展をしました。

当日は、子どもたちに的あてを楽しんでもらい、はぐくみ憲章をPRする啓発バッグと缶バッジをプレゼントしました。的あては、子どもたちに大人気で、「全部当たった！」と喜ぶ声も。元気いっぱいの子どもたちに会えました。



○向島藤の木小サークルトーク

5、6年生が「わたしたちが創る学校」をテーマに活動してきた内容について発表し、質問や感想を言う形のトークに参加してきました。

「修学旅行」「委員会活動」などユニークな活動があることを知るとともに、しっかりと考え、創造力のある子どもたちの姿に感心しました。



令和7年度 伏見中「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(6/12 (木)、8/21 (木)、10/7 (火)、3/11 (水))

■事業等

- 7月 4日(金) 研修会「京エコロジーセンターで学ぼう・つながろう」
(京エコロジーセンター)
- 9月 9日(火) 伏見ふれあい井戸端会議 (深草小学校)
- 10月19日(日) 深草ふれあいプラザ2025出展 (藤森神社)
- 1月23日(金) 桃山中学校 学習発表会 (桃山中学校)
- 1月31日(土) のんびり子育てカフェ in ふかくさ (深草小学校)

○「深草ふれあいプラザ2025」ブース出展

家族などへのありがとうの気持ちをハート型のメッセージカードに書いてもらい、「ありがとうの木」ブースを出展しました。

親子でお互いにメッセージを書きあったり、小さなお子さんがありがとうの気持ちを可愛い絵で表現してくれたり、心がほっこり温くなるメッセージがたくさん集まりました。



○桃山中学校学習発表会

桃山中学校の1・2年生の皆さんが、チャレンジ体験やそれぞれの探求テーマについてまとめた発表会に参加しました。

聞き手にわかりやすく、楽しませようという気持ちが伝わる話し方でクイズや質問を取り入れるなど、発表の仕方が工夫されていることに感心しました。



○伏見ふれあい井戸端会議

「スマイルカット～みんな笑顔のヘアカット～」というテーマで、NPO法人そらいろプロジェクト代表 赤松隆滋氏に講演いただいたき、講演から多くの学びと感動を得ることができました。その後は「こんな時、あなたは…？」というテーマでのグループトークをし、参加者のかたには地域とのつながりを感じていただける時間になりました。



令和7年度 伏見東「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の活動

■実行委員会の開催

(7/8(火)、9/10(水)、10/24(木)、11/28(金)、1/15(木)、3/12(木))

■事業等

- 2月22日(日) だいが子育てオープンデイ(醍醐支所)

○実行委員会

醍醐はぐくみネットワーク実行委員会は、今後のネットワーク活動の方向性を探るため、「子どもたちの体験と育成」「地域の活動と連携の現状」「課題解消のために必要なこと」などのテーマを設定し、月1回程度の実行委員会ごとに小グループで議論を行いました。

この議論を通じて、「体験」と「連携」の重要性が認識される一方で、イベント内容のニーズ把握や情報発信に課題があるという共通認識が浮上しました。

来年度は、この課題を解決するための取り組みを重点的に行っていく予定です。醍醐地域における子どもたちの健全な育成と地域活動の活性化に貢献することを目指します。



○「だいが子育てオープンデイ」運営

今年度初めて開催された、子ども向けイベントの受付のお手伝いをしました。

当日醍醐で活躍する企業や、団体などが勢ぞろいし、子どもたちのための体験スペースや、物販飲食スペースもあり大盛り上がりでした。

当日はスタンプラリーが開催され、その景品としてはぐくみ憲章のバッグを配布し、しっかり啓発することができました。